

3年連続の全国大会出場
約100人が所属する吹奏楽部

家族でもチケットの獲得が困難という人気の全日本吹奏楽コンクール中学生の部では、東海大会で1位の証である朝日新聞社賞を受賞した日進西中の演奏に、多くの期待が集まっています。

日進西中は今年、開校40年。陸上やソフトテニスなどでも全国大会出場者を輩出し、節目の年に多くの喜びや感動をもたらしました。3年連続で全国大会出場を決めた吹奏楽部の創部は1982年。近年の吹奏楽ブームと過去2年の全国大会進出した実績によって、現在99人が所属しています。

主顧問の清野雅子先生は、「人数が多ければ、音の迫力が違う。いろんな人が集まることで切磋琢磨でき、音楽性も豊かになる。一方で、一つの行動を全員に伝達するだけでも時間がかかったり、伝わっていないと、大変ですね。楽器不足などの問題もありますが、学校が緑豊かでうらかな地域にあるおかげでしょうか。生徒たちものんびり、ふんわりした優しい子ばかり」と笑って話します。しかし、次の瞬間には、「もっと早く！とどんどん練習時間が



日進西中吹奏楽部主顧問
音楽教諭

清野雅子先生

部員をはじめ、生徒に音楽の楽しさや素晴らしさを伝えたい。楽器演奏は生涯にわたって楽しめることも魅力です。集団で一つのことに取り組むのも、子どもたちの将来にきっと役立ちます

|| 巻頭特集 || 多彩で繊細なサウンドを心に響かせる

日進市立日進西中学校吹奏楽部

東海大会で最優秀賞である朝日新聞社賞を獲得した日進西中学校。

10月21日に名古屋市国際会議場で開催される全日本吹奏楽コンクールへと駒を進めました。

本大会を間近に控えた9月下旬。

「さらにワンランク上の演奏を」と、練習に励む部員を訪ねました。



上) 今年は課題曲に保科洋作曲「インテルメッツォ」、自由曲にワーグナー作曲の歌劇「リエッツィ」を演奏。「楽曲が子どもたちを育ててくれるであろうと選曲しました」と清野先生(下2枚)100人近くの部員が一言に練習できる場所がないため、半分に分かれて練習に励んでいます



部長/3年・トランペット
久村梨菜さん

「リーダーなんて向いていない。先輩みたいにできない」と不安でしたが奏楽愛、みんなが支えてくれて頑張れました。西中サウンドと同じで足りないところは仲間が補いながら、続けてきました



3年・アルトサクソ
中野里咲さん

自分に向き合い苦手なところを重点的に練習してきました。課題曲の終盤にソロがあります。私の代わりはないので、体調管理を心がけます。ホール全体に届くよう、歌うように美しく吹きたい



3年・ホルン
菊池ことりさん

地区大会は緊張して吐き気に襲われましたが、応援に来てくれた先輩たちに励まされました。練習も本番だと思って吹くことでメンタルを強化しています。楽器は叔父のプレゼント。一生大切に音楽を続けます

なくなるよ、急いで！」ときびきと指示。短い時間を有効的に使おうと大忙しです。

音を出す意識を研ぎ澄まして
全国大会初出場で金賞に

清野先生は、2015年に日進中から日進西中へ赴任。過去に日進中吹奏楽部を全国大会に5回導きました。そのうち3回は金賞を受賞。強豪校に育て上げた経歴があり、「日進に吹奏楽あり」と言わしめた人物です。

日進西中に着任した同年、地区止

まりだった吹奏楽部は、全国大会に初出場。金賞に輝きました。

吹奏楽コンクールは、毎年7月から予選がスタート。初年度は4月からの約3カ月で、音を出すことへの意識向上を図らなくてはなりません。自分と周りの音を聴く感覚を研ぎ澄ませるよう、しつこく言いました。音を出すときの意識が変わると、日ごとに、もっと言えば数分ごとにいい音色、いいサウンドが生まれていきます。

思ったより、音楽を愛した1年
やりきったといえる演奏を

全国大会に向けて取り組んでいた合奏練習では、さらにワンランク上の表現力や音楽性を目指すことに注力。「1種類しか音色が出せないのではダメだよ。楽曲の場面に合った音量や音色を意識して、歌うように音を出して。聴衆に場面が変わった

と感じさせないと」と、気合いを入れます。「もっと自分の音を聴いて」と、大きな声を掛けながら、演奏する部員の間を回って、吹く姿勢も直していきます。

吹奏楽部の今年のスローガンは「奏楽愛」。部長の久村梨菜さんが「みんなで互いに思い合って音楽を愛そう、という意味の目標です」と笑顔で説明してくれました。

朝練は朝7時からスタート。音楽室に着いたらすぐに演奏ができるよう、部員たちは開錠を待ちながら腹式呼吸を練習します。

全国大会出場校には、小学生から吹奏楽経験がある生徒の集まる部が多いなか、日進西中は未経験者ばかり。入部時には誰もが楽器を演奏できません。「他校に比べて技術力は足りないけれど、西中サウンドは繊細さが特長です。表現力で技術力を補って、聴く人たちに感動を伝えたい」。全国大会を間近に控え、意気込みを聞くと、「東海大会ではとても緊張してしまい、自分もみんなもミスが多かった。全国大会は全員悔いのない演奏ができれば」と意気込みます。

清野先生も「大会での演奏は、どうしても緊張しすぎたり気合いを入れすぎたりしてしまう。でもいい緊張感が必要。練習での演奏をいつも通りにするのですが、加えて集中できると、もっといい演奏ができます。その心のバランスが大事ですね」と、部員たちに目を配りながら語ります。

本誌が発行されるころには、大舞台での演奏を終えた後、2回目の金賞受賞という快挙を期待しつつも、部員たちが「自分たちはやりきった」と、満ち足りた笑顔を見せてくれたらと心から願います。

日進市立日進西中学校吹奏楽部
定期演奏会

(日時)
2018年3月27日(火)

(場所)
日進市民会館

(入場)
無料(要整理券)

(問い合わせ)
日進市立日進西中学校
日進市梅森町向江1597-1
☎052-803-4178